



小規模多機能型居宅介護

ケアホーム・み里の手



梅見物



2月23日、26日浜宮の綱敷天満宮へ梅見物に行きました。午後より雨も上がり、石畳の鏡内に入ると、ほのかに梅の香りがし、まだ八分咲きでしたが紅梅の色が鮮やかで印象的でした。皆様もとても喜ばれ口々に「来てよかった」との声が上がっていました。スロープを上がると一面の海が見え「次に来る時は、お弁当を持って来たいね」との声が上がっていました。



認知症対応型共同生活介護 認知症対応型通所介護

グループホーム・み里



初詣



1月の天気の良い日に闇無浜神社に初詣に行きました。皆さん今年はどうな願いをしたのか、しっかり手を合わせていました。職員もみ里的皆さんが今年も元気で笑顔がたくさん見られますようにとお祈りしました。



節分



2月3日に節分をしました。「鬼は外～福は内～」と大きな声を出して鬼に扮した職員に豆をぶつけていました。鬼が痛がる姿はおもしろかったですね！笑いがとまらない方もいました。邪気をしっかり払った後は、みんなで甘納豆をおいしく頂きました。

通所リハビリテーション

いきいきクラブ



炭坑節だよ～

1月14日、小島社中のボランティアの方が来られ、日舞、唄、フラダンスを披露して頂きました。利用者さん達も楽しそうに、ズンドコ節の曲に合わせ座ったままで手を前に出したり、腕を横に振ったりしながら笑顔で踊っていました。最後に数人の利用者さんも円の中に入り炭坑節を踊り盛り上がりました。

介護療養型医療施設

病棟



人生百まで

一、人生50は昔です 今は60でまだつばみ
70、80で花ざかり 100でようやく実をむすぶ
二、二度と得られぬこの命 朝な夕なに心から
生きたる幸せ感謝して 清く明るく暮らしましょう
三、流れる水は腐らない 凍るひまなし水車
頭と体をほどほどに 使って生きよう100までも

平成23年に入院。入所生活4年目を迎えられる廣安さんは今年で104歳になりました。入院当初こそ活気がありませんでしたが、現在では毎日、新聞と広告を隅から隅まで読まれ、レクリエーションでは、ラジオ体操、健口体操、風船バレー、創作活動に参加、他にも新聞や広告の切り抜きを使用して絵葉書を作成されたり、絵を描いたり、就寝前には日記を書き記されています。

「したいことをして、行きたいところへ行って、好き嫌いをせず、とにかく自然体でいること」これが長生きの秘訣とのこと。人生百まで・・・という歌があります。この歌が廣安さんの歩んできた道に思えてなりません。

皆さんも「人生百まで・・・」の様に長生きできることを願っております。

栄養課



3月3日は、ひな祭りメニューでした。変わりいなり寿司には、ちらし風いなりに菜の花をのせ彩り、ミンチ・エビマヨをのせました。茶碗蒸しには桜の花をのせ春らしさをだしました。とても好評でした。

住宅型 有料老人ホーム

シニアホーム・睦み



平成23年3月1日の開設より、この3月には5年目に入りました。定員19名と小規模であるところのみんなの顔が見える優しい家庭的な雰囲気を心がけています。食事中だけではなく、おやつのひとつ、夕食後のホールでの会話など入居者さま同志の交流も楽しんでいただいています。「ここに帰ってくるとホッとする」との言葉をうれしく思います。